

トウモロコシお勧め品種のご紹介

1) はじめに

今年の十勝管内は6月からの低温と長雨により、農作物全般に渡って深刻な影響を受けました。牧草・飼料作物もその例外ではなく、特にデントコーンは、管内のいたる所で天候不順による生育不良の圃場を目にしました(写真1)。

生育不良の原因としては、排水不良により根張りが悪い、肥料が十分に吸収できないなど、湿害の影響を受けている場合がほとんどでしたが、今年のような冷涼な気候により、生育に遅れが生じている圃場も見受けられました。

生育の遅れについては、播種時期、栽植本数等の栽培管理条件、また、品種選定(特に熟期)によっても差が出ていたように思います。



【写真1】 生育不良のトウモロコシ

ここ数年、温暖化の影響からガサ(生収量)を望む傾向があり、より晩生の品種を栽培される方が見受けられます。また、すす紋病による被害が年々拡大しており、低収や品質の低下に頭を悩ませる方々も増えてきております。

そこで今回、帯広営業所からは、今年のような冷涼年でも安定した収量を確保するため、すす紋病への抵抗性が強く、十勝管内に適したデントコーンのお勧め品種を紹介させていただきます。

2) 品種紹介

◎新品种 「ニューデント80日 ビビッド」

- ・大柄な80日で実入りも良好!!
- ・すす紋病抵抗性が極強!!
- ・耐倒伏性が極強!!



【写真2 芽室】 80日クラスでは抜群の草姿



【写真3 大樹】

左:すす紋病に罹病した葉



【写真4 大樹】

ビビッドの葉の拡大
すす紋病斑の拡大を防いでいる



【写真5 芽室】 左:他社85日 右:ビビッド
85日並みの雌穂で実入りも良い

新品種「ビビッド」は、十勝管内で条件の厳しい地帯でも黄熟期に達する品種です。すす紋病に対する抵抗性は当社販売品種のなかで最も強く、多発地帯でも安定した収量が期待できます(写真2・3・4・5)。

冷涼年でも安定した乾物収量を期待したい方、すす紋病が多発してお困りの方は「ビビッド」で決まり!!

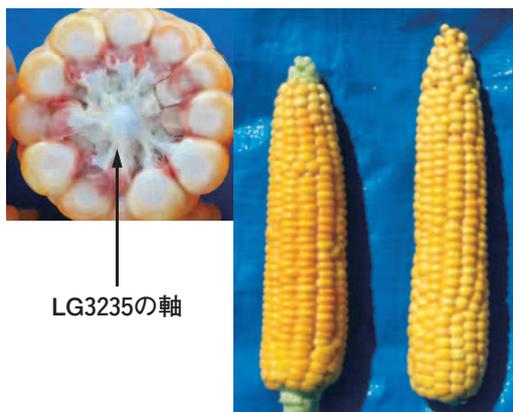
◎新品種「ニューデント85日 LG3235」

- ・大柄な草姿で子実収量も極多収!!
- ・初期生育が極良好!!

85日クラスの新品種「LG3235」は、非常に大柄な草姿で、雌穂が長く収量性が抜群です。また、すす紋病や根腐病など耐病性にも優れておりバランスの取れた品種です(写真6・7)。



【写真6 芽室】 ボリュームのある茎葉



【写真7 士幌】 左：他85日 右：LG3235
軸が細く雌穂が長い! 見た目以上の乾物収量!

すす紋病発生地帯で多収な品種をお求めの方、これまでになかった収量性と耐病性に加え、消化性を改善した品種です。是非一度「LG3235」を!

◎新品種「ネオデント・アシル90」

- ・大柄で極多収な90日!!
- ・根張りが良く耐倒伏性に強い!!
- ・耐病性が極強!!

「ネオデント・アシル90」は北海道在来種を利用し、当社研究農場にて育成した品種で、北海道の気候に適しています。特に十勝の条件の良い地帯に最適で、当社「ネオデント・シンシア90」より、すす紋病に強く、発生地帯でも安定した高収量が期待できます(写真8)。



【写真8】 大きな雌穂のアシル90

条件の良い地域では、収量・耐病・耐倒伏性の三拍子揃った「ネオデント・アシル90」がお勧め!!

3) おわりに

近年、異常気象という言葉をよく耳にしますが、地域に適した品種を選定し、栽培管理を徹底することで、少しでも被害を軽減できると考えております。

より晩生の品種は生収量が多収な為、収穫時には満足できますが、実際には乾物率や栄養価が低く本当の意味で多収とはいえません。特に今年のような冷涼年では、成熟が不十分でTDN収量の低下は避けられません。

サイレージ用デントコーンの収穫適期はTDN収量が最大に達する黄熟後期で、総体乾物率が30%です。8月10日頃までに絹糸が抽出する品種を目安とし、自分の地域に合った適切な品種選定を心がけましょう。

お住まいの地域の適正品種につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせ下さい。

(帯広営業所 田中)